

# CURIOUS MINDS

発行: せんだい若者サポートステーション

〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12

TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691

Mail: info@saposute.ne.jp

URL: http://www.saposute.ne.jp

平成22年5月 第32号

\* せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。現在お仕事をしていない方を対象に、仕事に向けての「これから」をサポートしています。

## ～ “curious minds” の願い～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心(＝楽しみを見出す力)を大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩み出していこう、という思いで、この広報紙を“curious minds”(キュリアス・マインズ)と名付けました。

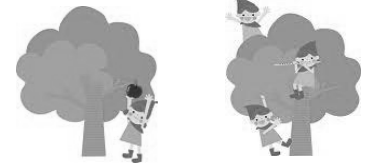
# せんだいサポステinformation



活動のご報告、そして今後のイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

月2回に増えた

## 「サロン」をのぞいてみると…



「サロン」は、せんだいサポステでも人気のイベントです。サロンはどうしても「話す」イメージが強いようですが、実は、「聞く」ことも大切!ここでは、サロンの進め方や、どんな会話が飛び交っているかなどをお伝えします。

## 「しごと体験」パワーアップ!!

「サロン」の基本は、“あえてテーマをあらかじめ決めず、その場の雰囲気の中で参加者が話したいテーマで自由に会話を楽しむ”ことです。スタッフも1～2名参加しますが、あくまでも「見守り役」。スタッフが話題を振ることは、あえてしません。

このように書くと、難しく感じられるかも知れませんが、日ごろ私たちがしている会話も、「台本なし」のフリートークですよね。ですから、さほど心配はありません。

話題はその時によって勿論違いますが、「人間関係の難しさ」「仕事に対する想い」といった深いものから、野球等のスポーツ、グルメ話、時には恋愛トークなど、その場の流れて、様々

な方向へ話は進んでいきます。

最初は遠慮がちだった参加者も、次第に話す声に力が入り、お昼の時間になったのも気づかず話し続けることもしばしばです。

そして、忘れてはならないのが「聞き手」の存在。時に真剣にうなずき、時に笑ったりしながら聞いてくれる参加者がいてくれるからこそ、話し手も「聞いてもらっている」実感を得て、安心して話せるのです。

「話すのは苦手だけど、みんなの話を聞いてみたいな…」と思っている方。是非とも、遠慮せずにサロンに参加してみてください。終わるころには、きっと笑顔になっているはずですよ。

せんだいサポステでは、今年度は「しごと体験」により力を入れていきます。「仕事への不安」を乗り越えるには、「少しずつ体験を増やし、自信をつける事」が大切だからです。

毎月の活動スケジュールのしごと体験以外にも、4月にはデイサービスでの介護体験と、物流センターでの発送作業体験を実施。5月には農作業体験を進めていく予定です。そして参加者は、体験することで、その仕事への興味を増しているようです。

「こんな体験をしてみたいな」というご希望にもなるべく応えていきたいと思っています。ご期待下さい!!

## 出前相談会のお知らせ

偶数月は大河原・岩沼、奇数月は塩釜・富谷にお邪魔し  
皆さまからのお話をお伺いします。

この出前相談会が、何かのきっかけになれば幸いです。

終日(10:00～16:00)、個別相談会を行います。電話でのご予約をお願い致します。(仕事の紹介・斡旋ではありません)

6月8日(火)

大河原合同庁舎

柴田郡大河原町字南  
129番1号  
TEL 0224-53-3111

6月22日(火)

仙台保健福祉事務所  
岩沼支所  
(塩釜保健所岩沼支所)

岩沼市中央3丁目1-18  
TEL 0223-22-2188

7月13日(火)

仙台保健福祉事務所  
塩釜総合支所  
(塩釜保健所)

塩竈市北浜4丁目8-15  
TEL 022-363-5502

7月20日(火)

仙台保健福祉事務所  
黒川支所  
(塩釜保健所黒川支所)

黒川郡富谷町ひより台  
2丁目42-2  
TEL 022-358-1111

### <対象となる方>

- ・「仕事をしなきゃとは思っているけれども、何から始めていいかわからない」というご本人
- ・「本人の力になりたいが、どう接すればよいか…」とお考えのご家族の方など

お気軽に!



※詳細は、せんだいサポステ(022-246-9685)までご連絡を頂くか  
ホームページ(<http://www.saposute.ne.jp>)をご覧ください

(「みやぎ県政だより」にも、出前相談会のお知らせが毎月掲載されています)

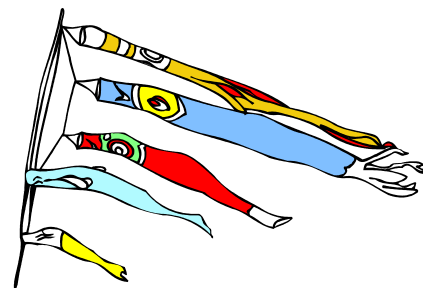
バックナンバーは  
ホームページで

“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできます。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

せんだい若者サポートステーションURLは、<http://www.saposute.ne.jp>

# サポステイベント情報

このコーナーでは最近のサポステで行ったイベントの情報をお伝えしていきます。  
担当はようやくサポステの仕事にもなれてきた矢崎です。  
今回は5月13日(木)のしごと見学(社会福祉法人 わらしべ舎)の様子をお伝えしたいと思います。  
わらしべ舎は知的障害者の自立をめざしている施設です。  
この記事を読まれた方が続々と各種イベントに参加してくれるとわたし達スタッフも更に張り切らざるをえません。



## しごと見学 (社会福祉法人 わらしべ舎)

5月13日(木) 10:30~14:00実施



今回のしごと見学は西多賀にある社会福祉法人「わらしべ舎」に5名の参加者の皆さんと共に行ってまいりました。車で20分程のドライブの後、到着すると、「待ってました」と言わんばかりに中村理事長が小走りに廊下を玄関までお迎えに来て下さいました。「ようこそいらっしゃいました。」と満面の笑みとジェスチャーを交えた歓迎を受け、参加者の皆さんの緊張は一気にほぐれたように感じました。

まず、施設内の作業風景を中村理事長の付き添いのもと見学いたしました。スタッフさんたちは明るく丁寧に作業内容を説明し、質問に対しても分かりやすく答えて下さいました。参加者の皆さんも興味深げにその説明に耳を傾けていたようでした。わらしべ舎は工作、石鹸作り、カレーショップの経営と実に様々な事業を行っており、どれも充実した印象を受けました。

また、わらしべ舎の送迎バスの燃料は家庭用の使用済み油を元にしたBDF(バイオディーゼル燃料)というもので、こちらも自家製のことで環境にも配慮した、先進さも感じました。見学後は中村理事長よりわらしべ舎の成り立ちや存在意義などを自らの身の上もオープンにして熱く語っていただきました。その強い信念、情熱に参加者の皆さんはすっかり引き込まれていたようです。

見学が終了し、中村理事長に玄関まで送っていただき、お礼とお別れの挨拶をし、向かった先はカレーショップ「桜蔵(さくら)」でした。

このカレーは・・・、「おいしい!」。本当においしいカレーでした。参加者の皆さんも満足げに「おいしい」と言いながら色々なカレーを楽しんでいました。メニューも「野菜カレー」「チキンカレー」「牛タンカレー」など豊富にあり、店内もおしゃれな感じで、近隣の住民の常連さんが多いというもうなづける気がしました。

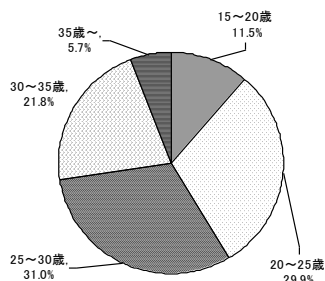
今回の見学の感想を参加者の皆さんに尋ねたところ、「中村理事長の情熱に圧倒された」と意義深い感想が聞かれました。それを聞き、今後も皆さんにとって有意義なしごと見学を企画していこうと決意をする私です。皆さん是非来月からの仕事見学にもご参加ください。参加者のみなさんどうもお疲れ様でした!



## せんだいサポステDATA (平成22年5月14日現在)

登録者数 **325名** (男女比は73:27)  
相談件数 **3,368名** (1日平均 **4.7名**)  
イベント参加者数 **3,524名** (1回平均 **5.7名**)

「サポステを知ったきっかけ」で一番多いのは、「ハローワーク・ジョブカフェからの紹介」で、新規登録者全体の4割近くを占めます。最近では「直接ホームページを見て」という方も増えています。



## 編集後記

最近、空の美しさに心洗われることがよくあります。太陽の光を浴びて幸せいっぱい輝いている青空も好きですが、夕暮れ時の空も大好きです。かすかに残る青空と夕焼けとのコントラスト、そして透明感のある夕闇へ移行する微妙なグラデーションの美しさに、大きなエネルギーをもらっています。それを口実に、空を見上げてはボーッとしている私です。(松井)

今回でcurious minds執筆2回目となりますが、実は皆さんにお伝えしたいイベントが「わらしべ舎」の他にも色々ありました。(コミュニケーションワーク、スポーツデイなど)しかし、紙面の都合もあり断念せざるをえませんでした。今後とも皆さんと共に楽しく有意義なイベントを実現させ、その様子になるべく臨場感を持ってお伝えできたらと思っています。みなさまどうぞこれからも各種イベントに参加してみてください!(矢崎)